

#2
PATENTS

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of

Hiroshi SATO et al.

Serial No. (unknown)

Filed herewith

CONTENT DELIVERING METHOD,
CONTENT DELIVERING SYSTEM,
AND CONTENT DELIVERING PROGRAM



CLAIM FOR FOREIGN PRIORITY UNDER 35 U.S.C. 119
AND SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT

Assistant Commissioner for Patents

Washington, D.C. 20231

Sir:

Attached hereto is a certified copy of applicants' corresponding patent application filed in Japan on July 21, 2000, under No. 2000-220150.

Applicants herewith claim the benefit of the priority filing date of the above-identified application for the above-entitled U.S. application under the provisions of 35 U.S.C. 119.

Respectfully submitted,

YOUNG & THOMPSON

By

Benoît Castel

Benoît Castel
Attorney for Applicants
Registration No. 35,041
Customer No. 00466
745 South 23rd Street
Arlington, VA 22202
Telephone: 703/521-2297

July 23, 2001

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

J1040 U.S. PTO
09/909885
07/23/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 7月21日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-220150

出 願 人

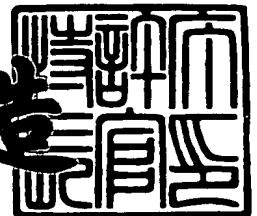
Applicant(s):

日本電気株式会社

2001年 5月25日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3043412

【書類名】 特許願

【整理番号】 40410487

【提出日】 平成12年 7月21日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 17/60
G06F 13/00
G06F 15/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

 【氏名】 佐藤 浩之

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

 【氏名】 向井 信幸

【特許出願人】

 【識別番号】 000004237

 【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100103090

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 岩壁 冬樹

 【電話番号】 03-3811-3561

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 050496

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コンテンツ配信方法、コンテンツ配信システムおよびコンテンツ配信プログラムを記録した記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 インターネットを介して顧客に対して情報を提供するコンテンツ配信方法において、

コンテンツ賃貸業者は、コンテンツデータの賃貸に際して、賃借期間のみで有効な暗号鍵および暗号化されたコンテンツデータを顧客に対して提供し、

顧客は、前記暗号鍵を用いてコンテンツデータの再生を行う

ことを特徴とするコンテンツ配信方法。

【請求項 2】 コンテンツ賃貸業者は、顧客に対して賃借料金の決済方法の選択を促し、顧客によって選択された決済方法にて決済を行う

請求項 1 記載のコンテンツ配信方法。

【請求項 3】 コンテンツ賃貸業者は、決済に際して、金融関連業者によって構築された信用照会用ネットワークにアクセスすることで顧客の信用照会を行う

請求項 2 記載のコンテンツ配信方法。

【請求項 4】 決済は、クレジットカード、金融機関の提携カード、電子マネーまたは金融機関の指定口座に対する振込み確認によってなされる

請求項 2 または請求項 3 記載のコンテンツ配信方法。

【請求項 5】 コンテンツ賃貸業者は、広告情報を顧客に対して見聞させる

請求項 1 ないし請求項 4 記載のコンテンツ配信方法。

【請求項 6】 コンテンツ賃貸業者は、蓄積している顧客情報に基づいて、広告情報を各顧客の嗜好に合わせて選別することで各顧客に対して電子メールにて送信する

請求項 1 ないし請求項 5 記載のコンテンツ配信方法。

【請求項 7】 コンテンツ賃貸業者は、蓄積している顧客情報を所定の項目別に分類することで顧客嗜好データを生成する

請求項 1 ないし請求項 6 記載のコンテンツ配信方法。

【請求項 8】 コンテンツ賃貸業者は、顧客嗜好データを他者に提供すること

によって情報提供料を徴収する

請求項 7 記載のコンテンツ配信方法。

【請求項 9】 インターネットを介して配信先端末に対して情報配信を行うコンテンツ配信システムにおいて、

顧客端末からコンテンツデータの賃借に関する注文情報を受信し、注文情報を基に賃借期間のみで有効な暗号鍵を生成するとともに暗号鍵を顧客が指示する配信先端末に対して配信するサーバと、

複数のコンテンツデータを蓄積し、前記サーバからの指示に従って配信すべきコンテンツデータを暗号化して配信先端末に対して配信するコンテンツ蓄積サーバとを

備えたことを特徴とするコンテンツ配信システム。

【請求項 10】 注文情報には、コンテンツデータの商品番号、賃借期間、配信先端末のアドレス、コンテンツデータの配信開始日時または暗号鍵配布日時が含まれる

請求項 9 記載のコンテンツ配信システム。

【請求項 11】 サーバは、広告データを配信先端末に対して配信する

請求項 9 または請求項 10 記載のコンテンツ配信システム。

【請求項 12】 コンテンツ蓄積サーバは、広告データをコンテンツデータに付加して配信先端末に対して配信する

請求項 9 ないし請求項 11 記載のコンテンツ配信システム。

【請求項 13】 サーバは、コンテンツデータの配信指示において、コンテンツデータの商品番号および配信先端末のアドレスをコンテンツ蓄積サーバに対して通知する

請求項 9 ないし請求項 12 記載のコンテンツ配信システム。

【請求項 14】 サーバは、注文情報から顧客および注文内容の対応関係を示す注文者識別情報を生成し、注文者識別情報を所定の項目に分類して蓄積する

請求項 9 ないし請求項 13 記載のコンテンツ配信システム。

【請求項 15】 インターネットを介して配信先端末に対して情報を配信するコンテンツ配信プログラムを記録した記録媒体であって、

前記コンテンツ配信プログラムは、コンテンツデータの賃借に関する注文情報を入力するステップと、注文情報に基づいて賃借期間のみで有効な暗号鍵を生成するステップと、注文情報に基づいて配信すべきコンテンツデータを特定するステップと、配信すべきコンテンツデータを暗号化するステップと、暗号鍵および暗号化されたコンテンツデータを配信先端末に対して送信するステップとを備えたことを特徴とするコンテンツ配信プログラムを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、コンテンツデータの賃借においてコンテンツ賃貸業者および顧客の双方の利便を向上させることができるコンテンツ配信方法、コンテンツ配信システムおよびコンテンツ配信プログラムを記録した記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

顧客は、CD等の記録媒体に記録された音楽コンテンツまたはビデオカセット、DVD等の記録媒体に記録された映像コンテンツを賃借（レンタル）する場合、帰宅経路や自宅の近辺等に設置されるレンタル店に出向くことが多い。図9は、従来のレンタル形態を説明するための説明図である。以下、音楽コンテンツ、映像コンテンツ等を総称して単にコンテンツと呼ぶこともある。

【0003】

レンタルに際して、顧客は、一般に、商棚に陳列される多数のパッケージから好みのパッケージを選択して、レンタル店内に設置される受付カウンタに持ち運ぶ。このとき、顧客は、レンタル会員であることを示す会員証の提示を求められることが多い。そして、店員は、パッケージに付されている商品番号と会員証に付されている顧客番号とをPOSシステム等の管理装置によって読み取らせ、レンタル期間を確認の上、レンタル料金を徴収することで、パッケージを顧客に対して貸し渡す。ここで、パッケージとは、コンテンツデータが記録されたCD、DVD等の記録媒体を包装するジャケット等のことである。

【0004】

また、顧客は、初回のレンタル時において、レンタル店におけるレンタル会員となることを要求されることが多く、同時に、会員証の作成も要求されることも多い。このとき、顧客は、賃借品の紛失・盗難等に対する補償目的のために、氏名、電話番号、住所等が記載された身分証明証の提示を求められることがある。このような身分証明証として、例えば、運転免許証、学生証等がある。また、顧客は、上述のような理由で、会員になるに際して、加入電話への加入を要求されることがある。

【 0 0 0 5 】

【 発明が解決しようとする課題 】

上述のようなレンタル形態では、顧客は、パッケージをレンタルした場合、賃借である以上、レンタル期間の満了日までにレンタル店に返却しなければならない。つまり、顧客は、レンタルに際して、借りに行くときと返却するときとの最低2回の来店を要求されることになり、来店の手間を負うことになる。

【 0 0 0 6 】

また、顧客は、所望のパッケージのレンタルを希望してレンタル店に来訪したとしても、当該パッケージは当店では取り扱っていないとか、他の顧客によってレンタルされていて返却日まで待たなくてはならない等の理由によって、望みどおりのパッケージをレンタルすることができない場合があり、無駄足を食うことがある。特に、話題性の高いパッケージのレンタル開始日には、上記のような事態が顕著に現れることがある。また、顧客は他者に先立って来店すれば希望のパッケージをレンタルすることができる場合が多いが、このような早いもの勝ちという従来のレンタル形態では、勤め帰りのサラリーマン等にとって都合が悪いといふことが多い。

【 0 0 0 7 】

さらに、顧客は、レンタル会員になるとときには、加入電話への加入を要求されることがあるが、加入電話に加入する際には、施設負担金とともに基本料金の負担を強いられることになる。特に、一人暮らしの者にとっては、不在の時間が多いため、この基本料金の負担自体が重荷になることがある。そして、一人暮らしの者がレンタルの主要客層を占めるなかで、このような者にとって経済的な負担

を強いることが、逆に、コンテンツデータの賃貸を行う業者（以下、コンテンツ賃貸業者という。）の顧客獲得の障壁となることがある。

【0008】

一方、コンテンツ賃貸業者は、事業を開始するに当たって、店舗を構えることを要求される。このとき、コンテンツ賃貸業者は、多数のレンタル用のパッケージを陳列するための相当規模の敷地および建坪を確保することを要求されることが多い。また、顧客が直接店舗に来店するという性質によって、店舗は、駅前、大通り沿い等の顧客にとって利便性が高い場所に立地されることを望まれる。そのため、コンテンツの賃貸を行おうとする者にとって、多額な初期投資の負担を強いられることがある。

【0009】

また、コンテンツ賃貸業界では顧客の幅広い嗜好に応えることが売り上げ向上の必要条件とされるため、コンテンツ賃貸業者は、幅広い分野のパッケージを確保すると同時に特定時期に賃借需要が増大すると見込まれるパッケージをその時期における最大業績効果を発揮する数分だけ確保する必要がある。そのため、毎週、毎月等にリリースされる最新のパッケージを確保すると同時に古くても賃借需要があるパッケージを確保することを要求される。従って、コンテンツ賃貸業者は、必然的に膨大な数のパッケージの在庫を抱えることになり、適量な数の在庫確保と業績効果を期待できるパッケージの選択に頭を悩ませることがある。つまり、在庫確保にかかるコストとそれに見合うだけの業績効果との調和に悩むことがある。

【0010】

そこで、本発明は、以上のような課題を解決するものであって、コンテンツデータの賃借においてコンテンツ賃貸業者および顧客の双方の利便を向上させることができるコンテンツ配信方法、コンテンツ配信システムおよびコンテンツ配信プログラムを記録した記録媒体を提供することを目的とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】

本発明によるコンテンツ配信方法は、コンテンツ賃貸業者は、コンテンツデー

タの賃貸に際して、賃借期間のみで有効な暗号鍵および暗号化されたコンテンツデータを顧客に対して提供し、顧客は、その暗号鍵を用いてコンテンツデータの再生を行うことを特徴とする。

【0012】

コンテンツ賃貸業者は、顧客に対して賃借料金の決済方法の選択を促し、顧客によって選択された決済方法にて決済を行う。このとき、金融関連業者によって構築された信用照会用ネットワークにアクセスすることで顧客の信用照会を行う。また、決済は、クレジットカード、金融機関の提携カード、電子マネーまたは金融機関の指定口座に対する振込み確認によってなされる。

【0013】

コンテンツ賃貸業者は、広告情報を顧客に対して見聞させる。また、コンテンツ賃貸業者は、蓄積している顧客情報に基づいて、広告情報を各顧客の嗜好に合わせて選別することで各顧客に対して電子メールにて送信する。このとき、コンテンツ賃貸業者は、広告提供者から所定の手数料を徴収してもよい。また、コンテンツ賃貸業者がこのようにして徴収した手数料の全部または一部を賃借料金に還元することで、顧客は、安価にコンテンツデータを賃借することができる。

【0014】

コンテンツ賃貸業者は、蓄積している顧客情報を所定の項目別に分類することで顧客嗜好データを生成する。所定の項目として、例えば、顧客の性別、世代層、職業等がある。コンテンツ賃貸業者は、このようにして生成した顧客嗜好データを他者に提供することによって、情報提供料を徴収することができる。また、先の説明の場合と同様に、情報提供料の全部または一部を賃借料金に還元してもよい。

【0015】

本発明によるコンテンツ配信システムは、顧客端末からコンテンツデータの賃借に関する注文情報を受信し、注文情報を基に賃借期間のみで有効な暗号鍵を生成するとともに暗号鍵を顧客が指示する配信先端末に対して配信するサーバと、複数のコンテンツデータを蓄積し、サーバからの指示に従って配信すべきコンテンツデータを暗号化して配信先端末に対して配信するコンテンツ蓄積サーバとを

備えたことを特徴とする。ここで、注文情報には、例えば、コンテンツデータの商品番号、賃借期間、配信先端末のアドレス、コンテンツデータの配信開始日時または暗号鍵配布日時が含まれる。

【 0 0 1 6 】

サーバは、広告データを配信先端末に対して配信する。また、コンテンツ蓄積サーバは、広告データをコンテンツデータに付加することで配信先端末に対して配信する。従って、付随情報としての広告情報を顧客に見聞させることができる。

【 0 0 1 7 】

サーバは、コンテンツデータの配信指示において、コンテンツデータの商品番号および配信先端末のアドレスをコンテンツ蓄積サーバに対して通知する。それによって、コンテンツ蓄積サーバは、配信すべきコンテンツデータを特定することができる。

【 0 0 1 8 】

サーバは、注文情報から顧客および注文内容の対応関係を示す注文者識別情報を生成し、注文者識別情報を所定の項目に分類して蓄積する。ここで、所定の項目として、例えば、顧客の性別、世代層または職業がある。そして、サーバの管理者であるコンテンツ賃貸業者は、注文者識別情報を基に顧客嗜好データを生成し、顧客嗜好データを他者に提供することで情報提供料を徴収することができる。

【 0 0 1 9 】

本発明によるコンテンツ配信プログラムを記録した記録媒体は、コンテンツ配信プログラムが、コンテンツデータの賃借に関する注文情報を入力するステップと、注文情報に基づいて賃借期間のみで有効な暗号鍵を生成するステップと、注文情報に基づいて配信すべきコンテンツデータを特定するステップと、配信すべきコンテンツデータを暗号化するステップと、暗号鍵および暗号化されたコンテンツデータを配信先端末に対して送信するステップとを備えたことを特徴とする。

【 0 0 2 0 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明による実施の形態について図面を参照して説明する。図 1 は、本発明を用いたコンテンツ配信システムの一構成例を示した構成ブロック図である。

【0021】

図 1 に示すコンテンツ配信システムでは、インターネットに代表されるネットワーク 100 に対して、ユーザ端末 110、配信先端末 120、センタサーバ 130、配信サーバ 140 およびコンテンツ蓄積サーバ 150 が接続される。

【0022】

ユーザ端末 110 および配信先端末 120 は、例えば、パーソナルコンピュータ等の情報端末またはインターネットに接続可能な機能を備えた携帯電話端末等の電話端末である。ここで、ユーザ端末 110 または配信先端末 120 が情報端末である場合には、インターネットとの接続ソフトウェアである WWW ブラウザ等が予めユーザ端末 110 または配信先端末 120 に組み込まれているとする。

【0023】

ユーザ端末 110 は、ネットワーク 100 を介してセンタサーバ 130 との間で情報のやり取りを行う。配信先端末 120 は、ネットワーク 100 を介して配信サーバ 140 およびコンテンツ蓄積サーバ 150 から発せられる情報を受信する。

【0024】

センタサーバ 130 および配信サーバ 140 は、コンテンツ賃貸業者によって運営・管理され、例えば、ワークステーション用サーバ等の情報処理装置によって構成される。コンテンツ蓄積サーバ 150 は、コンテンツ賃貸業者によって運営・管理され、例えば、ワークステーション用サーバ等の情報処理装置およびディスク装置等のメディア蓄積装置によって構成される。

【0025】

センタサーバ 130 は、ユーザ端末 110 から送信される情報に基づいて配信サーバ 140 との間で情報のやり取りを行う。配信サーバ 140 は、ネットワーク 100 を介して配信先端末 120 およびコンテンツ蓄積サーバ 150 に対して

情報の送信を行う。コンテンツ蓄積サーバ 1 5 0 は、多数のコンテンツデータを蓄積し、配信サーバ 1 4 0 からの指示に応じて配信先端末 1 2 0 に対して指定されたコンテンツデータを送信する。

【 0 0 2 6 】

ここで、センタサーバ 1 3 0、配信サーバ 1 4 0 およびコンテンツ蓄積サーバ 1 5 0 には、ユーザ端末 1 1 0 からの指示に応じて配信先端末 1 2 0 に対してコンテンツデータを配信するためのコンテンツ配信プログラムが組み込まれているとする。また、図 1 に示す例では、センタサーバ 1 3 0、配信サーバ 1 4 0 およびコンテンツ蓄積サーバ 1 5 0 がそれぞれ独立している例について例示したが、センタサーバ 1 3 0、配信サーバ 1 4 0 およびコンテンツ蓄積サーバ 1 5 0 の各機能を同一サーバによって実現してもよい。

【 0 0 2 7 】

次に、動作について説明する。ここでは、コンテンツデータの配信先を配信先端末 1 2 0 とした場合を例にとって説明する。また、配信先端末 1 2 0 を情報端末とする。図 2 は、図 1 に示すシステムの動作を説明するためのシーケンス図である。図 3 は、顧客の動作を説明するためのフローチャートである。

【 0 0 2 8 】

ユーザ端末 1 1 0 は、顧客からの指示に応じてセンタサーバ 1 3 0 がネットワーク 1 0 0 上で開設している注文受付ホームページに対してアクセスする（ステップ S 3 0 1）。すると、センタサーバ 1 3 0 は、コンテンツデータのレンタルに関する選択画面をユーザ端末 1 1 0 に対して提供する。すると、ユーザ端末 1 1 0 における表示部には、図 4 に示すような選択画面が表示される。図 4 は、選択画面の一例を示す説明図である。

【 0 0 2 9 】

図 4 に示す例では、コンテンツは、「音楽」と「映画」の 2 つのジャンルに大別される。「音楽」では、コンテンツのタイトルはアーティストごとに分類され、各タイトルには、商品番号、レンタル価格およびチェック欄が対応付けされる。

「映画」では、コンテンツのタイトルは制作国ごとに分類され、「音楽」の場合と同様に、各タイトルには、商品番号、レンタル価格およびチェック欄が対応付

けされる。そして、ジャンルが「音楽」または「映画」であっても、チェック欄に印が付されているものについては、当該コンテンツがレンタル希望の対象であることを意味する。印は、マウス操作等によって付される。そして、図 4 に示す例では、タイトルが「にほんのえいが」のコンテンツがレンタル希望の対象として選択され、画面右下に表示されるコンテンツ決定ボタンがマウス操作等によって押される。

【 0 0 3 0 】

すると、ユーザ端末 1 1 0 における表示部には、図 5 に示すような画面が表示される。図 5 は、選択画面の一例を示す説明図である。顧客は、この画面にて、コンテンツデータのレンタルに関する注文情報を入力する（ステップ S 3 0 2）。入力は、キーボード操作等によってなされる。図 5 に示す例では、注文情報として、「レンタル期間」、「配信先指定」、「配信開始日時」および「暗号鍵配布日時」が挙げられる。

【 0 0 3 1 】

「レンタル期間」は、コンテンツデータのレンタル期間を示し、1 週間（1 w e e k）、1 日（1 d a y）、2 日（2 d a y s）または顧客希望期間から選択可能である。「配信先指定」は、コンテンツデータの配信先の端末のアドレス（電話番号）を意味する。つまり、本実施の形態では、配信先端末 1 2 0 のアドレスを意味する。配信先端末 1 2 0 が電話端末である場合には、「配信先指定」に当該端末の電話番号が入力され、配信先端末 1 2 0 がパーソナルコンピュータ等の情報端末である場合には、「配信先指定」に当該端末のインターネット上のアドレスが入力される。

【 0 0 3 2 】

「配信開始日時」は、コンテンツデータの配信開始日時を示し、即時または顧客希望日時（下記指定）から選択可能である。「暗号鍵配布日時」は、コンテンツデータの再生に必要な暗号鍵の配布日時を示し、注文と同時、配信開始時、配信完了時または顧客希望日時（下記）から選択可能である。「暗号鍵配布日時」を上記のように細かく選択できるようにしたのは、レンタル期間の開始契機は暗号鍵の配布完了時点に起因するためであり、配信先端末 1 2 0 に対するコンテン

ツデータの配信中に発生するネットワーク不具合等による配信中断のリスクや、配信先端末120とネットワーク100との間のアクセス帯域幅等の事情を考慮したためである。

【0033】

ここで、顧客は、注文に先立って、自己の氏名、電話番号、住所、電子メールアドレスを含む自己プロフィールをセンタサーバ130に対して登録する必要がある。このようなプロフィールは、注文情報の入力の際で別途（図示していない別画面にて）登録されてもよいし、注文情報の入力の前段階にて予めセンタサーバ130に対して登録されてもよい。

【0034】

顧客は、以上に示すような注文情報の入力をし終えた後で、画面右上に表示される注文ボタンをマウス操作等によって押す。ここで、注文情報は、図5に示す通りに選択されたとする。すると、ユーザ端末110は、注文情報をセンタサーバ130に対して送信する。センタサーバ130は、受信した注文情報から注文者（顧客）と注文内容とを識別するための注文者識別情報を生成する。つまり、注文者と注文内容との対応関係を示す情報を作成する。

【0035】

センタサーバ130は、生成した注文者識別情報を内部に備えられるデータベース等の記録媒体に蓄積する。注文者識別情報は、注文毎に順次蓄積される。また、センタサーバ130は、注文者識別情報を所定の項目毎に分類・集計が容易なように整理して蓄積してもよい。所定の項目として、例えば、注文者の性別、世代層、職業等がある。センタサーバ130は、注文者識別情報を配信サーバ140に対して送信する。また、注文情報の確認のために、ユーザ端末110に対しても送信する。このとき、図6に示すような決済打診画面をユーザ端末110における表示部に提供する。図6は、決済打診画面の一例を示す説明図である。

【0036】

図6に示す決済打診画面では、図5に示す選択画面での選択結果に加えて決済方法の指定欄が表示される。決済方法として、「クレジットカード」、「デビット方式」、「電子マネー」および「金融機関での振り込み」の4形態が挙げられ

る。注文者は、これらの決済方法から任意の決済方法を選択する（ステップ S 303）。選択は、それぞれの決済方法に対応して付されるチェック欄にマウス操作等によって印がされることによってなされる。

【0037】

決済方法として「クレジットカード」が選択された場合には、ユーザ端末 110 における表示部には、クレジットカードの番号等を入力するための画面が表示される。「デビット方式」が選択された場合には、指定銀行および指定口座番号等を入力するための画面が表示される。「電子マネー」が選択された場合には、電子マネー口座の口座番号等を入力するための画面が表示される。「金融機関での振り込み」が選択された場合には、顧客は、別途、コンテンツ賃貸業者から振り込み用紙等が送付される。

【0038】

顧客は、決済方法を選択し、必要な情報を入力し終えたら画面右上に表示される照会ボタンをマウス操作等によって押す。すると、ユーザ端末 110 は、先に入力された決済打診情報をセンタサーバ 130 に対して送信する。センタサーバ 130 は、受信した決済打診情報をもとに賃借料金（レンタル料金）の決済処理を行う。

【0039】

センタサーバ 130 は、決済方法として「クレジットカード」が選択された場合には、クレジットカード会社等によって構築された信用照会用ネットワークに対してアクセスすることで、顧客の信用照会を行い、顧客の信用が取れた段階でレンタル料金の決済を行う。

【0040】

「デビット方式」が選択された場合には、センタサーバ 130 は、顧客の取引金融機関に備えられるゲートウェイに該顧客の口座番号等の情報を送信し、金融機関等によって構築された信用照会用ネットワークを介して顧客の銀行口座よりレンタル料金の決済を行う。

【0041】

「電子マネー」が選択された場合には、センタサーバ 130 は、「デビット方

式」の場合と同様な手順によって、顧客の電子マネー口座よりレンタル料金の決済を行う。

【 0 0 4 2 】

「金融機関での振り込み」が選択された場合には、コンテンツ賃貸業者は、顧客の住所または居所に対して振込み明細書および所定の振込み用紙を送付する。そして、コンテンツ賃貸業者は、レンタル料金の振込みが確認できた時点で決済を行う。振込み確認は、コンテンツ賃貸業者による通帳記入によってなされてもよいし金融機関からの電話等による通知によってなされてもよい。

【 0 0 4 3 】

センタサーバ 1 3 0 は、レンタル料金の決済が終了すると、図 7 に示すような注文情報確認画面をユーザ端末 1 1 0 における表示部に表示させる。図 7 は、注文情報確認画面の一例を示す説明図である。注文者は、注文情報確認画面の表示内容で問題が無ければ、確認ボタンをマウス操作等によって押し、キャンセルしたい場合には、キャンセルボタンを押す（ステップ S 3 0 4 ）。そして、ユーザ端末 1 1 0 は、確認ボタンが押されたかキャンセルボタンが押されたかの情報をセンタサーバ 1 3 0 に対して送信する。なお、センタサーバ 1 3 0 は、レンタル料金の決済が不能であった場合には、以降の処理を中止してもよいし、決済方法の選択手続きを最初からやり直す旨の通知をユーザ端末 1 1 0 に対して送信してもよい。

【 0 0 4 4 】

キャンセルボタンが押された場合、センタサーバ 1 3 0 は、以降の処理を中止する。このとき、注文手続きを最初からやり直す旨の通知をユーザ端末 1 1 0 に対して送信してもよい。確認ボタンが押された場合、センタサーバ 1 3 0 は、配信開始通知を配信サーバ 1 4 0 に対して行う。

【 0 0 4 5 】

配信サーバ 1 4 0 は、配信開始通知を受信すると、レンタル期間内にのみ有効な有効期限付きの暗号鍵を生成する。暗号鍵には、コンテンツ配布時のタイムスタンプと有効期限のタイムスタンプとが内部情報として含まれる。タイムスタンプは、パーソナルコンピュータ等の情報端末におけるタイマー値を基準にしても

よいし、インターネット上における絶対時間を基準にしてもよい。そして、「暗号鍵配布日時」が「注文と同時」であるので、配信サーバ140は、このようにして生成した暗号鍵を配信先端末120およびコンテンツ蓄積サーバ150に対して送信する。配信先端末120およびコンテンツ蓄積サーバ150は、受信した暗号鍵を暗号鍵ファイルとして保持する。

【0046】

配信サーバ140は、「配信開始日時」として「即時」が選択されていることに鑑み、広告データをJava等のスクリプト言語で作成し、コンテンツデータの配信に先立って配信先端末120に対して送信する。配信先端末120は、受信した広告データを広告情報として表示部に表示する。広告情報の表示は、コンテンツデータの配信開始までされてもよいし、コンテンツデータの配信完了までなされてもよい。また、配信サーバ140は、広告情報の配信を任意の時間に中断してもよい。

【0047】

広告情報は、広告会社等によって提供されるものであって、例えば、新作情報、売れ筋情報、各世代層向けの特定情報等がある。コンテンツ賃貸業者は、このような広告情報を顧客に見聞させる対価として、広告会社に対して所定の広告料金を請求してもよい。このとき、徴収した広告料金の全部または一部をレンタル料金に還元してもよい。

【0048】

次に、配信サーバ140は、コンテンツ蓄積サーバ150に対して配信指示を行う。このとき、注文されたコンテンツデータの商品番号および配信先指定情報（配信先端末120のアドレス）をコンテンツ蓄積サーバ150に対して送信する。

【0049】

すると、コンテンツ蓄積サーバ150は、多数蓄積されるコンテンツデータの中から配信すべきコンテンツデータを抽出し、先に受信した暗号鍵を用いることによって配信すべきコンテンツデータを暗号化する。暗号化されたコンテンツデータを配信先端末120に対して送信する。また、配信先端末120は、所定の

日時に配信サーバ140に対してアクセスすることで、コンテンツ蓄積サーバ150から予め指定したコンテンツデータの配信を受けてもよい。

【0050】

配信先端末120は、受信したコンテンツデータをハードディスク等の記憶装置の内部に記憶させる。配信先端末120には、受信したコンテンツデータを再生するための再生ソフトウェアが組み込まれているとする。この再生ソフトウェアは、例えば、コンテンツデータの配信に先立って、配信先端末120に対して送信される。

【0051】

なお、上記の実施の形態では、「配信開始日時」が「即時」および「暗号鍵配布日時」が「注文と同時」である場合を例にとって説明したが、「配信開始日時」が「顧客希望日時」である場合、広告データは、その日時までに配信先端末120に対して送信されてもよい。また、「暗号鍵配布日時」を「配信開始時」、「配信完了時」または「顧客希望日時」とした場合であっても、上記に示した動作と同様である。

【0052】

ここで、コンテンツデータの配信先を配信先端末120としたのは、ユーザ端末110と配信先端末120とのコンテンツ蓄積容量、転送容量等の違いを考慮したためである。例えば、ユーザ端末110が携帯電話端末等の電話端末である場合、コンテンツデータの配信先をユーザ端末110とすると、データ転送レートが低いため転送に時間がかかり、通信料金が高くなるという不具合が発生することがある。そこで、このような不具合を是正するため、コンテンツデータの転送条件のよい端末を配信先端末120とした。もっとも、コンテンツデータの転送条件に関してユーザ端末110と配信先端末120との間の差違が大きい場合には、コンテンツデータの配信先をユーザ端末110としてもよい。

【0053】

顧客は、レンタル期間中に、コンテンツを鑑賞しようとする場合には、配信先端末120に組み込まれる再生ソフトウェアを起動させる（ステップS305）。このとき、再生ソフトウェアは、暗号鍵ファイルを参照して、当該コンテンツ

データが再生可能であれば当該コンテンツデータを復号化することによって再生する。レンタル期間が超過している場合には、暗号鍵ファイルは既に無効なものとなっているため、再生ソフトウェアは当該コンテンツデータの再生を行うことができない。

【0054】

レンタル期間を超過しているコンテンツデータは再生できないため、顧客は、従来のようなコンテンツデータを返却をするという手間から解放される。また、顧客は、このような再生不能なコンテンツデータを削除してもよい。さらに、再生ソフトウェアがそのようなコンテンツデータを削除してもよい。

【0055】

上記の実施の形態では、配信サーバ140が広告情報を配信先端末120に対して送信する例を示したが、コンテンツ蓄積サーバ150が図8に示すように配信すべきコンテンツデータに広告データを付加してもよい。図8は、コンテンツデータの一例を示す説明図である。このようなコンテンツデータが配信先端末120に対して送信されることで、コンテンツデータの再生時に、注文されたコンテンツデータの再生の前または後に、顧客に対して広告情報を見聞させることができる。このときも、コンテンツ賃貸業者は、広告会社等から広告料金を徴収してもよい。

【0056】

また、コンテンツ賃貸業者は、広告会社等からリリース情報、イベント情報等の広告情報を一括して受付け、センタサーバ130に蓄積される全顧客の注文者識別情報を参照して、これらの宣伝情報から各顧客の嗜好にあった情報を選定し、その情報を該当する顧客（ユーザ端末110または配信先端末120）に対して電子メールにて送信してもよい。このとき、コンテンツ賃貸業者は、広告会社等から代行料金を徴収してもよい。また、全顧客の注文者識別情報を基に性別、年齢別、職業別等のカテゴリで分類した顧客嗜好傾向データをレコード会社や映画配給会社等に提供してもよい。このときも、コンテンツ賃貸業者は、レコード会社や映画配給会社等から情報提供料を徴収してもよい。そして、コンテンツ賃貸業者は、このようにして徴収した代行料金や情報提供料の全部または一部をレ

ンタル料金に還元してもよい。

【0057】

以上のように、本実施の形態によると、コンテンツ賃貸業者は、センタサーバ130、配信サーバ140およびコンテンツ蓄積サーバ150を備えることでコンテンツデータを配信先端末120に対して提供することができるので、事業の開始に当たって店舗を構える必要が無くなる。従って、店舗を構えることによる初期投資、店舗維持費および人件費等の負担をしないで済む。また、同一内容のコンテンツデータをネットワーク100を介して複数の顧客に対して提供することができるため、コンテンツ賃貸業者は、従来の店舗型のように同一内容のパッケージを複数本揃えるといった必要が無くなるので、在庫管理の面においても負担の軽減を図ることができる。

【0058】

また、顧客は、配信先端末120にて、希望する日時に希望するコンテンツデータをネットワーク100を介してコンテンツ賃貸業者から受信することができる。コンテンツデータは有効期限付きの暗号鍵にて暗号化され、配信先端末120は、レンタル期間中にのみ、暗号鍵を用いてコンテンツデータの再生を行うことができる。従って、顧客は、コンテンツデータのレンタルのために店舗に来店せずに済む。

【0059】

さらに、コンテンツ賃貸業者は、顧客のクレジットカード等に記録される特定情報等をもとに金融関連会社等によって構築された信用照会用ネットワークにアクセスすることで顧客の信用照会を行う。また、信用照会の後、顧客の指定する決済方法によって賃借料金の決済を行う。従って、顧客は、新規にレンタルを行う場合でも、従来のように、会員登録のために身分証明書の提示を求められたり、加入電話への加入を求められずに済む。

【0060】

また、配信サーバ140はコンテンツデータの配信に先立って広告データを配信先端末120に対して送信する。また、コンテンツ蓄積サーバ150が広告データをコンテンツデータに付加して配信先端末120に対して送信することもあ

る。このとき、コンテンツ賃貸業者は、広告会社等から広告料金を徴収することで、レンタル料金以外でも収入を得ることができる。また、コンテンツ賃貸業者がこのようにして徴収した料金の一部または全部をレンタル料金に還元することで、顧客は、安価にコンテンツデータをレンタルすることができる。

【 0 0 6 1 】

さらに、コンテンツ賃貸業者は、センタサーバ 1 3 0 に蓄積される全顧客の注文者識別情報をもとに顧客嗜好情報等を作成することができ、この情報を他の業者に対して提供することができる。また、他の業者から広告情報等を一括して受け付け、センタサーバ 1 3 0 に蓄積される全顧客の注文者識別情報をもとに広告情報の中から各顧客の嗜好にあった情報を選定し、選定された情報を該当する顧客に対して電子メール等で送信することができる。以上のような場合において、コンテンツ賃貸業者は、他の業者から所定の手数料を徴収することができる。また、先の説明の場合と同様に、このようにして徴収した手数料の全部または一部をレンタル料金に還元することもできる。

【 0 0 6 2 】

また、MP 3 (M P E G 1 a u d i o l a y e r 3) 等の方式により符号化された音楽データをインターネット等を介して顧客に対して 1 曲ずつ販売するといったビジネス形態が増えつつあるが、本発明によると、音楽データ等のコンテンツデータを賃貸にて顧客に対して提供するため、顧客は、購入の場合と比べて安価にコンテンツデータの提供を受けることが可能となる。

【 0 0 6 3 】

【発明の効果】

本発明によれば、コンテンツ賃貸業者は、サーバおよびコンテンツ蓄積サーバを備え、所望するコンテンツデータをインターネットを介して顧客に対して提供することができるので、事業の開始に当たって、店舗を構える必要が無くなる。それに伴って、コンテンツ賃貸業者は、店舗維持費および人件費等のコストの負担をせずに済む。また、一つのコンテンツデータを複数の顧客に対して提供することができるので、在庫管理の面における負担の軽減を図ることができる。また、顧客としても、都合のよい時間に所望するコンテンツデータの賃借をすること

ができるという利点がある。

【 0 0 6 4 】

また、顧客に対して提供されるコンテンツデータは賃借期間のみ有効な暗号鍵にて暗号化されているため、顧客は、賃借期間内に限り、コンテンツデータを鑑賞することができる。従って、顧客は、コンテンツデータの賃借に際して、来店の手間から解放される。

【 0 0 6 5 】

さらに、コンテンツ賃貸業者は、コンテンツデータの賃貸に際して、金融機関等によって構築された信用照会用ネットワークにアクセスすることで、顧客の信用照会を行ったのち、顧客によって指示された方法にて賃借料金の決済を行う。従って、コンテンツ賃貸業者は、確実に賃借料金を徴収することができる。また、顧客は、初めてコンテンツデータを賃借する場合であっても、信用照会のために運転免許証、学生証等の身分証明書の提示を求められることがない。

【 0 0 6 6 】

また、コンテンツ賃貸業者は、広告情報を顧客に見聞させる見返りとして、広告提供者から広告料を徴収することができる。また、蓄積している各顧客の注文情報を基に、広告提供者から一括して受け付けた広告情報から、各顧客の嗜好に合った情報を選別し、選別した情報を該当する顧客に対して電子メールにて送信することで、代行手数料を広告提供者から徴収することができる。さらに、蓄積している各顧客の注文データを顧客の性別、世代層および職業等によって分類することで顧客嗜好データを作成し、顧客嗜好データを他者に提供することで、該他者から情報提供料を徴収することができる。従って、コンテンツ賃貸業者は、賃借料金の名目以外にも収入を得ることができる。また、コンテンツ賃貸業者が以上のようにして得た収入の全部または一部を賃借料金に還元することで、顧客は、より安価にコンテンツデータの賃借を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明を用いたコンテンツ配信システムの一構成例を示した構成ブロック図である。

【図 2】 図 1 に示すシステムの動作を説明するためのシーケンス図である。

【図 3】 顧客の動作を説明するためのフローチャートである。

【図 4】 選択画面の一例を示す説明図である。

【図 5】 選択画面の一例を示す説明図である。

【図 6】 決済打診画面の一例を示す説明図である。

【図 7】 注文情報確認画面の一例を示す説明図である。

【図 8】 コンテンツデータの一例を示す説明図である。

【図 9】 従来のレンタル形態を説明するための説明図である。

【符号の説明】

1 0 0 ネットワーク

1 1 0 ユーザ端末

1 2 0 配信先端末

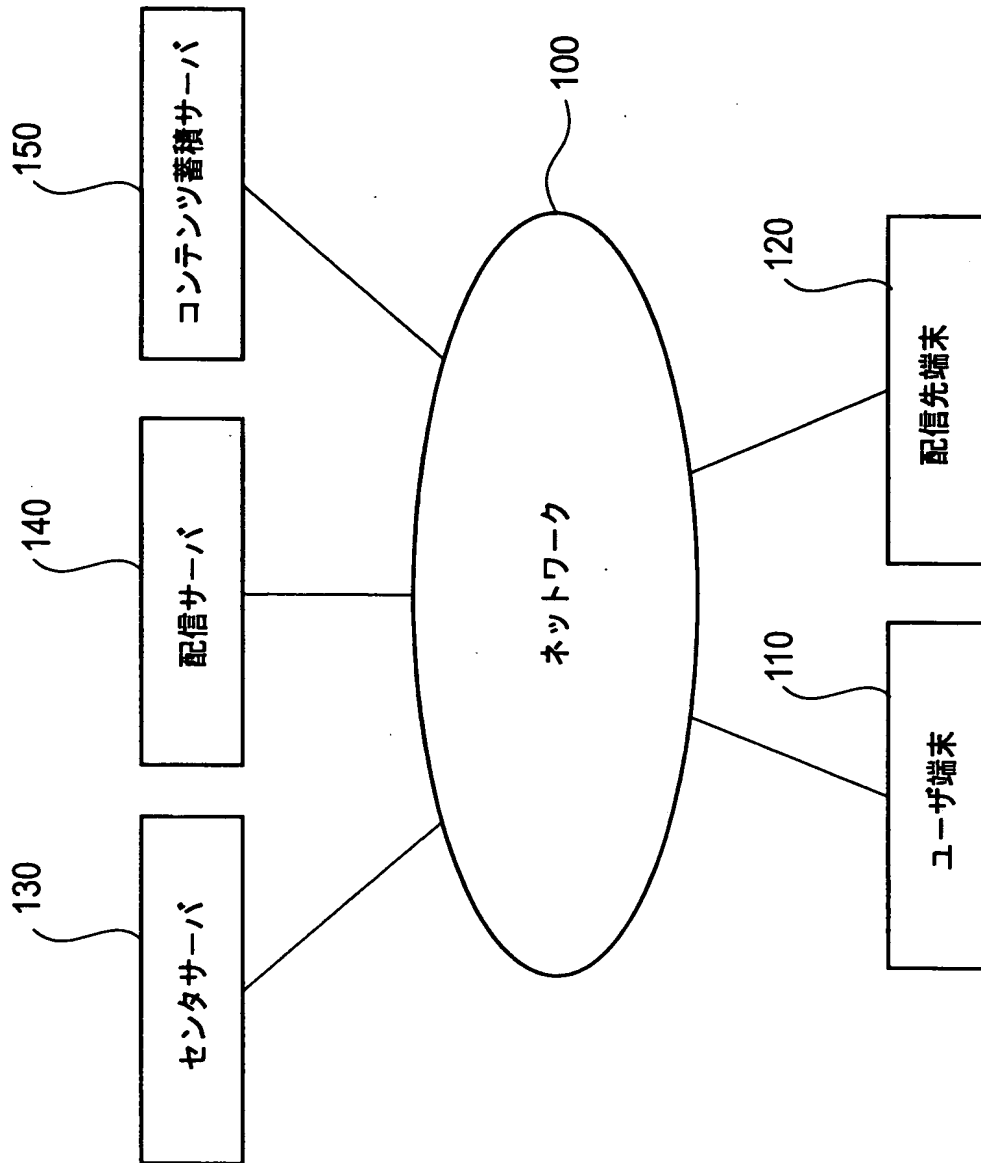
1 3 0 センタサーバ

1 4 0 配信サーバ

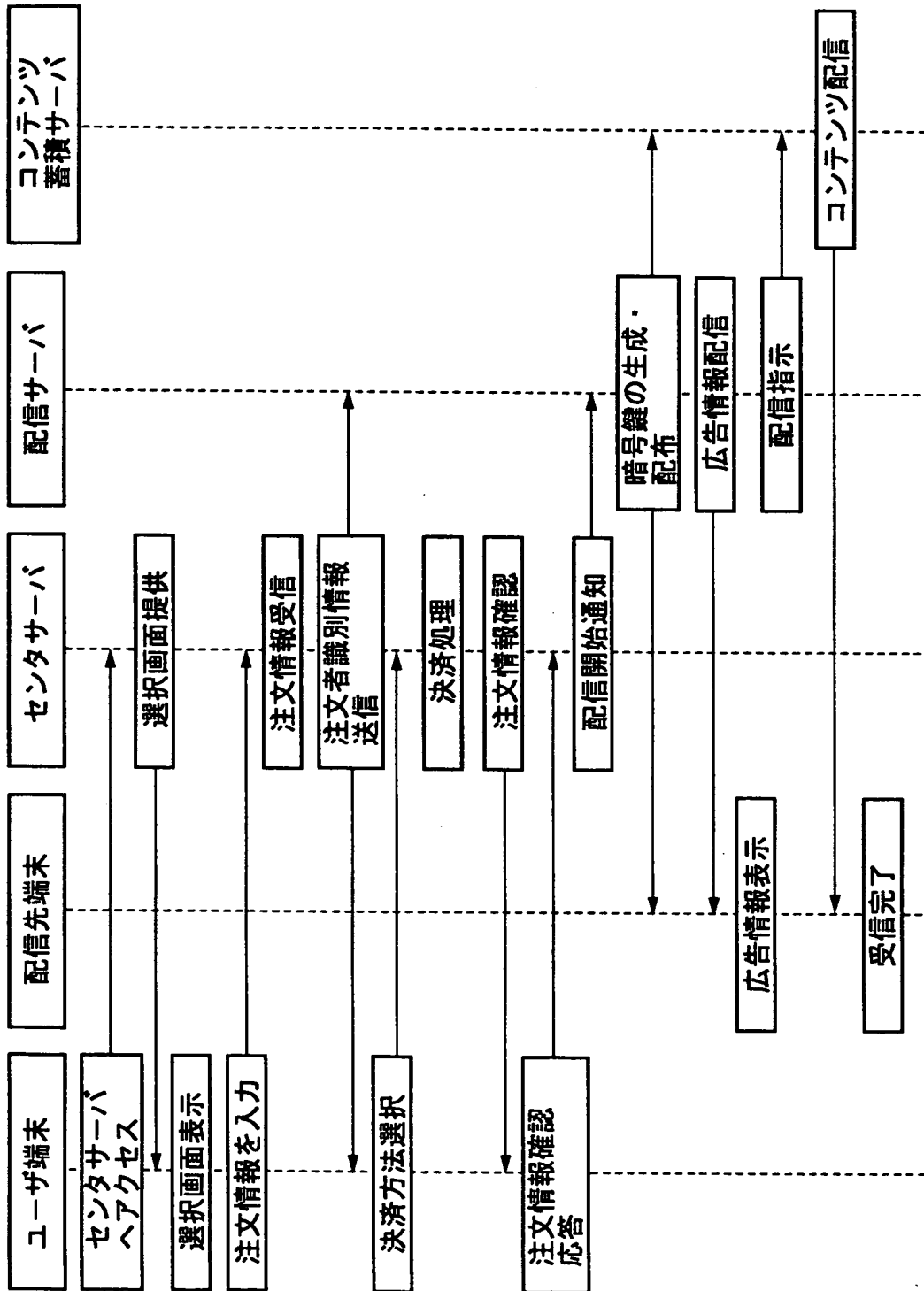
1 5 0 コンテンツ蓄積サーバ

【書類名】 図面

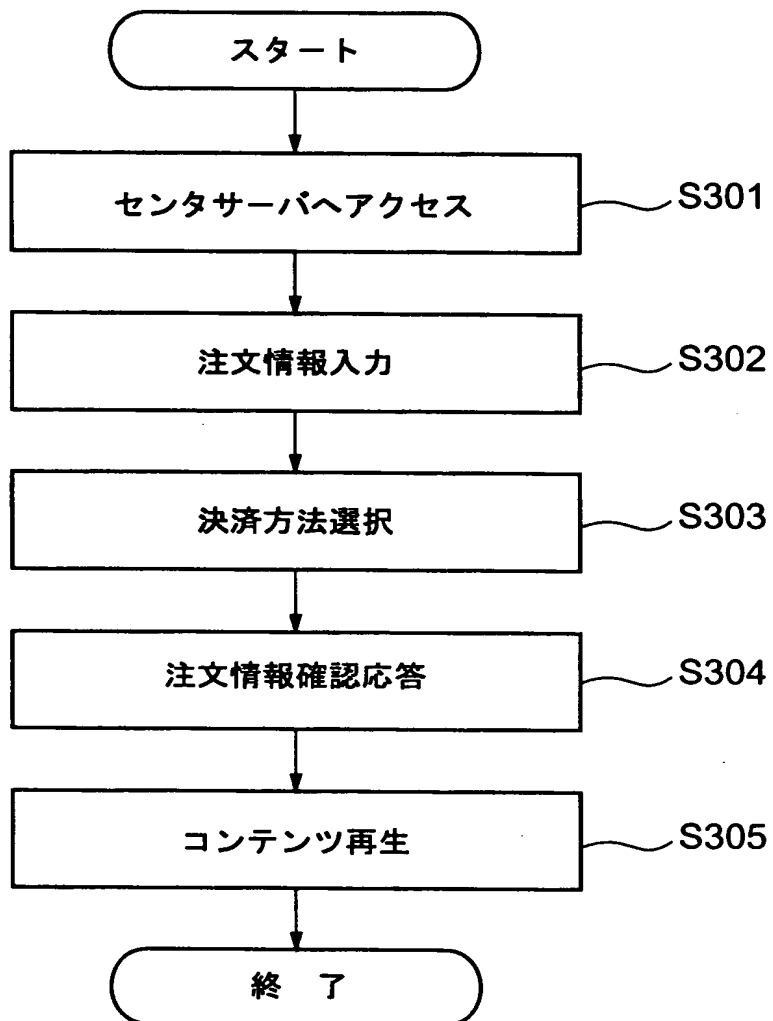
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図4】

音楽				
アーティスト	タイトル	商品番号	レンタル価格	チェック
OOBAND	No.1××song	xxxxxx	1week***円1day***円	<input type="checkbox"/>
△△Bro.	Hip□□□Hop	yyyyyy	1week***円1day***円	<input type="checkbox"/>

映画				
国	タイトル	商品番号	レンタル価格	チェック
日本	にほんのえいが	zzzzzz	1week***円1day***円	<input checked="" type="checkbox"/>

コンテンツ決定

【図5】

注文商品	
商品番号 1.zzzzzz	タイトル にほんのえいが
注文	

注文情報	
1.zzzzzz	
○ レンタル期間	<input checked="" type="checkbox"/> 1week <input type="checkbox"/> 1day <input type="checkbox"/> 2day ~ <input type="text"/> days
○ 配信先指定	<input type="checkbox"/> 電話番号 <input type="text"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> IP Address <input type="text" value="abc@def.ne.jp"/>
○ 配信開始日時	<input checked="" type="checkbox"/> 即時 <input type="checkbox"/> 下記指定
	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分
○ 暗号鍵配布日時	<input checked="" type="checkbox"/> 注文と同時に <input type="checkbox"/> 配信開始時 <input type="checkbox"/> 配信完了時 <input type="checkbox"/> 下記
	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分

【図 6】

注文商品		
商品番号	タイトル	
1.ZZZZZZ	にほんのえいが	照会
<hr/>		
注文情報		
1.ZZZZZZ		
<input type="radio"/> レンタル期間	<input checked="" type="checkbox"/> 1week <input type="checkbox"/> 1day <input type="checkbox"/> 2day~ <input type="text"/> days	
<input type="radio"/> 配信先指定	<input type="checkbox"/> 電話番号	<input type="text"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> IP Address	<input type="text" value="abc@def.ne.jp"/>
<input type="radio"/> 配信開始日時	<input checked="" type="checkbox"/> 即時 <input type="checkbox"/> 下記	
	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	
<input type="radio"/> 暗号鍵配布日時	<input checked="" type="checkbox"/> 注文と同時に <input type="checkbox"/> 配信開始時 <input type="checkbox"/> 配信完了時 <input type="checkbox"/> 下記	
	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	
<input type="radio"/> 決済方法指定 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビット方式 <input type="checkbox"/> 電子マネー <input type="checkbox"/> 金融期間での振り込み		

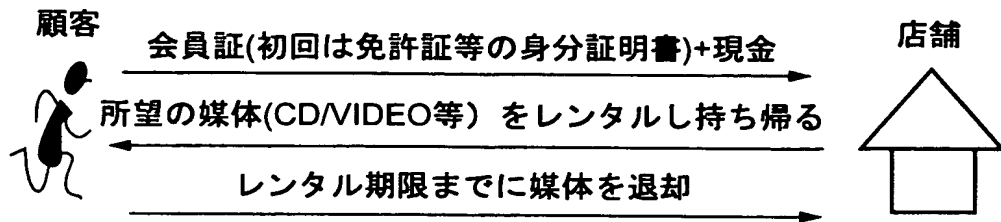
【図7】

注文商品	
商品番号	タイトル
1.zzzzzz	にほんのえいが
注文情報	
1.zzzzzz	
レンタル期間	1week
配信先指定	abc@def.ne.jp
配信開始日時	即時
暗号鍵配布日時	注文と同時
決済情報	
決済方法	クレジットカード
	〇〇信販
	0123-456-789-912
<div>確認</div> <div>キャンセル</div>	

【図8】

広告データ
コンテンツ データ

【図 9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 コンテンツデータの賃借においてコンテンツ賃貸業者および顧客の双方の利便を向上させることができるコンテンツ配信方法、コンテンツ配信システムおよびコンテンツ配信プログラムを記録した記録媒体を提供する。

【解決手段】 ネットワーク 1 0 0 を介してユーザ端末 1 1 0 からコンテンツデータの賃借に関する注文情報を受信するセンタサーバ 1 3 0 と、注文情報に基づいて賃貸期間のみに有効な暗号鍵を生成するとともに暗号鍵を配信先端末 1 2 0 に対して配布する配信サーバ 1 4 0 と、多数のコンテンツデータを蓄積し、配信サーバ 1 4 0 からの指示に従って配信すべきコンテンツデータを特定し、配信すべきコンテンツデータを暗号鍵にて暗号化して配信先端末 1 2 0 に対して送信するコンテンツ蓄積サーバ 1 5 0 とを備える。

【選択図】 図 1

特2000-220150

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日	1990年 8月29日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都港区芝五丁目7番1号
氏 名	日本電気株式会社